

昭和二十七年十一月十三日提出
質 問 第 六 号

国鉄南武線の本宿駅復活に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十七年十一月十三日

提出者 並 木 芳 雄

衆議院議長 大野伴睦殿

国鉄南武線の本宿駅復活に関する質問主意書

国鉄南武線の分倍河原駅と谷保駅との間には、二つの駅があつたのであるが、これが廃止になつてからの不利不便は、はなはだしいものである。

西府村四谷部落から立川駅に出るのに、京王帝都線中河原駅から分倍河原駅に行き、ここで南武線に乗りかえて行くような始末である。

又、西府村本宿部落には、学校その他の施設があり、通勤者にとつても分倍河原駅と谷保駅の間に乗降駅のないことは非常な苦痛である。

このため、地元の本宿駅復活の要望は、烈なるものがあり、ぜひこれが実現を期したのであるが、これに対する当局の見解、計画及び見通しをうけたまわりたい。

右質問する。